

ビッグに成長 BIC



BICは、商大生を対象とした「ビジネス・アイデア・コンテスト」として1999年に学生有志がスタートさせました。その後3年余りで BICの活動はぐんぐん広がり、コンテストの主催以外にも幅広い活動を行っています。そんなBICに、学外からの注目も集まりつつあります。

こんにちは！ 小樽商科大学BICです。これは、「Business Idea Contest(ビジネスアイデアコンテスト)」の略です。現在は、活動内容がコンテスト以外にも及んでいますので、最近では「びーあいしー」、または「びっく」と呼ばれています。

BICは、学生の意欲を高め、商大の活性化・存続を図るという目的を掲げて活動しています。主な活動の内訳は、！ビジネスアイデアコンテストの実施、"学外からの依頼を受けての調査・企画、#交流会の企画・運営、などです。「学生に自分自身をもちょっと考えてもらう」場を提供して意識改革に繋げてもらうような活動をしています。それを通して、我々を含めた本学学生が「行動力・問題解決能力を身につけ創造性を高める」ことができればいいなと思って活動しています。

つまり、「学生の意識改革を図る」、柔らかく言うと「商大

生よ、もっと元気出せ！！」という方針で活動している有志団体なんです。

具体的には活動内容はこんな具合です。

：「ビジネスアイデアコンテストの実施」

1999年に始まった我々の出発点とも言うべき活動で、学生ならではの発想力を生かしたビジネスに関するアイデアを募集し、コンテストを行うというものです。

5回目の昨年(2002年)は、学内外から270通ものアイデアが集まり、予選を通過した6つのアイデアが本選(昨年12月11日)でプレゼンテーションを行いました。

本選に残ったアイデアには、現在、商品化に向けて、企業とやり取りしているものもあります。コンテストへの応募アイデアは、本選の結果と併せてHP上で公開し、企業などに情報提供しています。(http://newbic.hp.infoseek.co.jp)

2002年度「第5回ビジネス・アイデア・コンテスト」概要

10月 1日(火)～17日(木)	募集
10月31日(木)	1次審査通過者発表 応募された全アイデアについて予備審査が行なわれ、6つのアイデア(早稲田大学生からの応募1つを含む)が本選に進みました。
12月11日(水)	コンテスト本選 14:30～ 最優秀賞 「快適！安心！瞬間接着～サラサラ接着剤～」 渡辺知誉子さん 優秀賞 「ペットボトルを広告媒体に」 最上谷 一さん 「土曜学校～子供達の社会見学～」 沼 智之さん(早稲田大学) 特別賞 「ハンズフリーシューズ」 萩原 広さん 「総合学習サイトの運営」 山本真史さん 「宅配レッスン」 岡田江似子さん

：「積丹・土佐山田プロジェクト」

積丹町役場からCBCに寄せられた依頼を我々が委託され、昨年7月から実施しています。これは、積丹町と高知県土佐山田町の特産品を使い、新しい特産品を作るプロジェクトです。コンテスト形式で募集し、商大生と一般の方々から、合わせて約300の応募がありました。いかとおクラの和え物「よさこい漬け」や両町の地酒と珍味のセット「南北酒めぐり」、すり身をチューブに詰めた「すり身大将」や、「モチモチコロッケ」などが入選しました。

これらのアイデアの商品化についての意見を小樽・積丹の飲食店や加工業者などから聴取し、今年1月には、コンテストの授賞式を兼ねた意見交換会も開催しました。

：「交流会・講演会の企画・運営」

ベンチャーを目指す学生のために、ベンチャー企業のトップや現役学生社長を招いての交流会や講演会を企画・運営しています。彼らの経験や知識が、本学学生の中で起業を考えている人たちの参考になれば、と思っています。

私達は、小樽商科大学での活動を通して、小樽という街の活性化に繋げようとも思っています。再び小樽に活気を取り戻すため、どうか私達の活動を応援してください。

ご意見・ご質問等お待ちしております！！

小樽商科大学BIC 委員長：木村 充寿 かつとし
E-Mail; katsu104@sea.plala.or.jp